http://www.ipg.co.jp/press

G-PRESS

VOL.2
2002.8.12

G News

8月1日、松下電器より Gガイド搭載テレビの新モデル発売

8月1日に松下電器より、Gガイド搭載プログレッシブテレビが発売されました。28型～36型のプログレッシブワイドテレビT<タウ>で松下電器の中核機種。新CRT採用により高精細映像を実現(36/32型)。月産10,000台を予定しており、積極的に市場に提案していく製品になります。(TH-36FP50、TH-32FP50、TH-28FP50／各々オープン価格)

この機種ではGガイドの画面も若干進化しております。従来より好評の新聞ラ・テ欄形式を踏襲しながら、一度に5つのチャンネルが表示されますので、番組表の一覧性が高まっております。

店頭で見かけましたら、ぜひお試しください。

■ 商品についてのURL　http://www.panasonic.co.jp

TH−32FP50

TH−36FP50

今回の機種はこんなところがパワーアップ!

■ラテ欄が5局表示に!

従来より好評の新聞ラ・テ欄形式を踏襲しながら、一度に5つのチャンネルが表示されます。番組表の「見やすさ」と「一覧性」の両方を兼ね備えています。

■番組表からビデオ、DVDに簡単録画予約!

番組表などのGガイドEPG画面から、一発簡単に外部接続したビデオ、DVDに簡単に録画予約が行えます。(松下電器の対応録画機種のみ)

■番組関連語句検索機能搭載!

番組タイトル、簡易見出し情報から文字を切り出します。文字の切り出しは漢字・平仮名・カタカナ・数字・アルファベットの境目で切り取り、それを一つの語句として扱います。この切り出した語句をもとに他の番組タイトル、簡易見出しを検索しにいきます。

■7月末段階でのGガイド対応受信機

ソニー　ハードディスク内蔵録画機
「チャンネルサーバー」(CSV−S55)

松下電器産業　「デジタル　タウ」
AVHDD内蔵BSデジタルハイビジョンテレビ(TH−36DH200)
「プラズマ　タウ」
BS・110度CSデジタルハイビジョンプラズマテレビ(TH−42PX10)
BS・110度CSデジタルプラズマテレビ(TH−37PD10)

G Interview

メーカー担当者 インタビュー

Gガイドを採用し発売しています松下電器の担当者にGガイドについて聞いてみました。

松下電器産業（株）AVC社
テレビシステムプロダクツ事業部
商品企画グループ
主事　井上英樹さん

■松下電器の受信機のEPGの特徴は…？

私どものEPGは新聞のラテ欄をイメージしており、初めてのユーザーの方でも親しみやすい画面になっています。色に関しては、青色をベースにして、目に優しく、番組表の視認性をよくしています。

■今回の新しいGUIの開発で注意したところとねらいは…？

今までの当社の受信機では3チャンネル表示でしたが、今回のモデルでは表示チャンネル数を5チャンネルにすることによって、一覧性を向上しています。また、一覧性を向上させる為には文字サイズを小さくする必要がありますが、視認性を維持しながら文字サイズを小さくしております。結果的には以前より情報量が向上しました。

■松下電器としてのGガイド採用機種の方針、Gガイドの評価は…？

デジタルテレビ、アナログテレビの高級モデルに関しては、積極的に搭載させて頂こうと考えています。EPGでは全国100%のカバーをしてるのはGガイドだけですので、採用しています。また、テレビ番組ガイド誌のようなエンタテインメント情報をテレビで気軽に、かつ無料で見られる点も新しいメディアとして期待している所です。

■広告があることに関しては…？

企業の広告だけではなくて、エンタテインメント情報が入っていることがよいですね。今後はこれらの情報の見せ方の工夫もしていきたいと思っています。

■Userもしくは、量販店からの反応は…？

当社では以前よりプログレッシブなどの大型テレビにもEPGを搭載しており、他社にない特長として量販店さんからも非常に好評です。また、先月から発売しているプラズマハイビジョンテレビでは、BSデジタル＋110度CSデジタル＋地上波と全ての放送のEPGが見られると言うところも良い評価を頂いてます。

■今後のテレビはどのように進化していくのでしょうか…？

一つはBSデジタルなど放送そのものがデジタル化されていく中で、量と質の両方が向上していく事が期待されています。多くのコンテンツやエンタテインメント情報がある中で、テレビで簡単に良い番組が選べるというユーザーの利便性も向上していかなければいけないですね。もう一つは、蓄積メディア、通信メディアが発達していく中、テレビもそれらを取込んでいく事でお客様の生活が「便利で、楽しく、ちょっと賢く」なるような商品を提供していきたいと思います。様々なデジタルコンテンツの「一番身近な世界の窓」になれればいいですね。

■今後のGガイドに期待するところは…？

大きく3つあります。

1）番組情報の拡大と内容の充実
2）エンタテインメント情報の拡大と内容の充実
3）ユーザーにとって、より見やすく、よりわかりやすく、より便利な機能になる為のご支援ご協力

現在のGガイドで100%だとは思っていません。ユーザーの視聴スタイルが変化するなかで、ユーザーに選ばれるような物にしていきたいですね。

Inside G

ソニーのチャンネルサーバーが記事になりました

ソニーが5/11に発売したGガイド対応受信機『チャンネルサーバー』が記事になりました。掲載されたのは、テレビ情報誌「テレパル」の7/21号、情報誌「ぴあ」の8/5号。また、impressのAV Watchニュースサイトにも掲出されました。

http://www.watch.impress.co.jp/av/docs/20020424/zooma56.htm

こういった形で、少しずつではありますが、Gガイドもユーザーに認知されつつあります。Gガイドは、今後も多数の受信機に搭載されていきます。 店頭に行かれましたら、是非「地上波の番組表が見られる新しいテレビってどれ?」「Gガイド下さい。」と一声おかけ下さい。今後とも皆さまのご協力をお願いいたします。

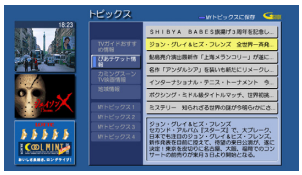
（その他、Gガイドに関わる掲載情報をご存じの方は、下記までご連絡下さい。）

G Tips

ちょっとした機能紹介

トピックス

トピックスとはGガイドの機能で、テキストによるインフォメーションコーナーです。Gガイドではテレビはエンタテインメント情報発信元と位置付けておりますので、テレビ番組情報だけではなく、その周辺にあるエンタテインメント情報をこのコーナーを利用して発信しています。トピックスは、最大4つのカテゴリーをもつことが可能で、1つのカテゴリーには1日7本の情報を掲出することができます。



松下電器産業「TH-FP50」

ソニー「チャンネルサーバー」

現在のカテゴリー

■TVガイドおすすめ情報
（東京ニュース通信社）
おすすめドラマの裏舞台や、今日生まれの有名人などを紹介。

■カミングスーンTV映画情報
（ギャガクロスメディアマーケティング）
おすすめ映画の情報だけではなく、ふだんは見られない記者会見の模様などを紹介。

■おすすめチケット情報
（ぴあ、全国コンサートツアー事業者協会）
全国のおすすめコンサート情報を、その会場地域に向けて発信。

■地域情報
（各Gガイド地域ホスト局）
各地域の地元に根ざしたイベント情報などを発信。
（ホスト放送局独自運用サービスとなっています。）

今後発売を予定している“地上波・BS・CSシームレスGガイド”では、カテゴリーが最大8つに拡がりますので、ご期待下さい。

発行：（株）インタラクティブ・プログラム・ガイド　TEL: 03-3544-2814　e-mail: press@ipg.co.jp